

# S A ・ ネット大阪ニュース 第 41 号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>  
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内  
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL : 080-3040-6336

## ◆ ◆ 第 17 期通常総会を迎えて理事長の挨拶 ◆ ◆

理事長 村松 秀明

- ◆ 普通の生活が戻りつつありますが、皆様如何お過ごしですか。当法人の 2022 年度活動のご報告、並びに今年度の活動計画について、本紙面を通してご報告させていただきます。
- ◆ 各事業部の活動はコロナ禍の時を経て若干の変化があります。おもちゃ学校が定着してきた事、その修了生の活動が増えてきた事、国際交流の活動が変化した事、新規の活動として「ぼっちゃ交流会」や大阪万博共創チャレンジ「幸せの星プロジェクト」をスタートした事等があげられます。
- ◆ 組織としては大阪府 S A 連絡協議会に加盟した事が大きな変化です。昨年一年間役員会で議論を重ね本年度からの加盟となりました。大阪府全域で活動する仲間と共にシルバーアドバイザーの活動を盛り上げて行きたいと考えています。
- ◆ 又、当法人を取り巻く関係団体との関係の強化をはかり、コーディネーターの一員としてビジョン・理念の共通項のあるところとコラボしていきます。その為には活動内容も増やしていきたいと考えています。会員皆様方の積極的な参画をお待ちしておりますので宜しくお願い致します。

## ◆ ◆ 第 17 期通常総会開催の報告 ◆ ◆

報告者：広報部長 大川 正彦

平素は当法人の運営に格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。

第 17 期通常総会は令和 5 年 6 月 3 日以下の内容にて開催させて頂きました。

コロナ禍で令和 2 年は入場制限、令和 3 年は書面審議、令和 4 年は 3 年振りの総会となりました。第 17 期総会は、司会渡邊 耕平氏（理事）、議長＝長澤 慎治（理事）で開催しましたので報告致します。

- ・期日 令和 5 年 6 月 3 日（土） 午後 1 時 30 分～2 時 30 分
- ・場所 大阪ボランティア協会 会議室

正会員数 23 名中（出席 12 名、委任状 7 名）、計 19 名の承認を頂きましたよって 1/2 以上の賛成により議決されました。

### 議 案

第 1 号議案	第 17 期事業報告承認の件	承認 19 否認 0
第 2 号議案	第 17 期決算報告承認の件	承認 19 否認 0
第 3 号議案	第 18 期役員選任（案）の件	承認 19 否認 0
第 4 号議案	第 18 期事業計画（案）の件	承認 19 否認 0
第 5 号議案	第 18 期活動予算（案）の件	承認 19 否認 0

・詳細は ホームページ参照 <https://sanetosaka.com>

※ 参考会員（正会員 23 名・賛助会員 34 名・計 57 名）

## ◆ ◆第17期事業報告◆ ◆

## I. 第17期事業 総括報告

報告者：村松 秀明

第17期も新型コロナウイルス感染症の影響は受けながらも行動制限が緩和され徐々に我々の活動も正常化に向かいました。一方国際情勢はと見ればロシアによるウクライナ侵略、ミャンマー国軍クーデターから続く圧政など不条理な事柄が今も世界のどこかで起こっている状況です。日本も又、近隣の危険な国家の脅威にさらされ厳しい状況におかれていると思います。

そんな中、当法人も多文化共生社会の実現という目標を掲げ様々な活動をおこしました。一つは事務所のある大阪市教育会館の中の障がい者就労支援施設との交流会を実施しハンディキャップを背負ってながらも元気に生活する若者達との交流を図りました。

また2025年の大阪・関西万国博の機運醸成活動ということで万博共創チャレンジチームに登録し活動を開始しました。万博協会の認定を貰って訪日観光客や在日外国人に対して「幸せの星」のプレゼント活動を進行中です。様々な団体、関係団体とのコラボでプロジェクトが動き出しています。

またそれぞれの事業部におきましては、従来の活動に戻りつつある中で、いろいろ工夫を凝らした活動を実施いたしました。

おもしろ算数教室事業部におきましては、読売クラブでの講座が定着化しつつあります。講師も複数になり、多方面からの要望にも応えられる体制になりました。

おもちや学校は3期生を送り出し、新たに13名の方が当法人の会員になって頂き一緒に活動する事になりました。

国際交流事業部につきましてはコロナ禍の中で始めた海外日本語学校とのオンライン交流を継続いたしました。また大阪日本語教育センターに来ている留学生の方ともオンライン交流を実施しております。またインドネシアからの介護実習生とのオンライン交流も実施いたしました。

活動を財務面で表す決算内容では今期も繰越金を増やす事ができました。寄付金が大きく増えた事が要因となっております。今後も一般市民の方に対して活動の共感を持って貰える広報活動を充実させ、寄付が集まるようにしたいと思います。

他団体との連携につきましては、大阪府SA連協に加盟した事で他の地区SAとも一緒になって活動できる体制を作りたいと考えています。

## II 事業部 活動報告

## 1. 伝承おもちやづくり府民塾事業部 活動報告

報告者：島田 道子

「新型コロナウイルス感染」が、少し収まりかけているが油断をしないように活動する事を心掛けての一年間でした。

## ① 四天王寺「わか市」 月に1回第1日曜日 参加回数 7回

「わか市」は、6月 9月 10月 11月 12月 2月 3月と開催。コロナ以前の活動に戻りつつ有りますが、子どもさん方やシニアとの「濃厚接触」が懸念されるため その対応策を講じながらの開催でした。おもちやを作り遊ぶことは子どもさん親御さんたちにとっても大切であり情操教育に役立つことだと実感しました。

- ② 「おもちゃづくり教室」 隔月第3火曜日 実施 6回 大阪中央区民センターにて  
「新型コロナウイルス感染」を懸念しながらの、年6回（5月7月9月11月4年1月3月）の開催となりました。講師側、受講生ともシニアが多く、また、府内各地からの参加で外出による感染懸念を考慮し大事をとりました。教室で皆さんの笑顔が、あかるく素敵でした。
- ③ NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への指導 実施1校 天王寺区民カレッジにて  
今年度は1校でしたが、とても活発な皆さんで 用意していた作品は易しくて早く終了したことを踏まえて下準備を何処までするか難しい事だと考えさせられました。

## 2、おもしろ算数教室事業部報告

報告者：二葉 登代子 昨年度は、

大阪読売文化センターからの依頼による講座として、松原テラスと、LIC はびきのでの活動が多くなりましたが、いずれも参加者の方々は「算数パズル難しいものもあったが、楽しかった」と仰っておられました。LIC はびきのでは、「楽しいから、次回の募集での参加申し込みの勧誘をした」という方や「誘ってもらって良かった。楽しい」と、賑やかにおしゃべりが続きます。・松原テラスでは、4月からの募集が無くなってしまいました。

「どうすれば再開してもらえるか」と、スタッフに掛け合っている受講者の姿が見られました。楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」に取り組む事によって、脳を活性化することが出来ます。現在は、パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動は、なかなか困難です。しかし、相変わらず「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。そこで、パズル体験が以前のように再開できるようになった時には、現在、参加には、大きい溝となっている「参加すると頭をはかられる」感覚を除き、又は小さくするための工夫が求められています。

人気の「清少納言知恵の板」に、現在は、新しい「ユークリッド知恵の板」をサポートの方と協同で作成できました。これらの知恵の板が非常に人気です

## 3、国際交流事業部 活動報告

報告者：古川 雅一

2022年度の活動もコロナ禍の中、対面活動が難しい中での実施でした。

この様な状況のもと、コロナの影響を受けないオンラインによる海外との交流、日本に来日中の留学生等々とのオンライン交流を行いました。

また、海外産業人材育成協会とはインドネシアからの介護士候補者と、日本語会話練習会を授業として採用いただき実施しました。

### ①ミャンマー日本語学校(ヤンゴン)とのZOOM交流活動

- ・名称：「日本語で話そう」交流会
- ・活動日：毎週水曜日 16:30～17:30（現地時間 14:00～15:00）
- 第7クール 2022年4月20日～6月29日 計10回
- 第8クール 2022年7月20日～9月28日 計9回
- 第9クール 2022年11月9日～2023年1月25日 計9回
- 第10クール 2023年3月1日～3月5日 計5回
- ・各回 日本人メンバー 6名、ミャンマー側 6名～10名、コーディネーター1名
- ・交流内容：毎回のテーマに沿って最初の20分を参加者が1分程度話し、その後グルー

プに分かれ其々が話す。最終の10分程度をグループでの話した内容の報告にする。

②トルコ・アンカラ土日基金友好協会・日本語教室とのZOOM交流活動

- ・名称：「日本語で話そう」交流会
  - ・2022年6月5日～6月26日 計4回
  - 各回 日本人メンバー 10名(内、SA吹田4名)、トルコ側 6名～10名
  - ・2022年5月8日 今後の打ち合わせミーティング
- ・交流内容：毎回のテーマに沿って全体交流、グループに分かれての交流を計1時間行なう。

③トルコ・イスタンブール生涯学習センター日本語教室とのTEAMS交流活動

- ・名称：「日本語で話そう」交流会(先方の授業として開催)
- ・活動日：毎週土曜日 16:30～18:00 (現地時間 10:30～12:00)
  - 第4クール 2022年5月21日～7月2日 計7回
  - 各回 日本人メンバー 13名、トルコ側 13名(登録制度で実施)
- ・交流内容：トルコ側が各回のテーマについて事前勉強の上グループに分かれて交流プレゼン。日本側もトルコの様々な文化、風習他を知る事ができ有意義な交流会。

④海外産業人材育成協会・介護士候補者とのZOOM交流活動

- ・名称：「日本語会話練習」交流会
- ・活動日：第1回 2022年10月14日 Mクラス  
第2回 2022年10月28日 Nクラス  
第3回 2022年11月17日 Rクラス  
第4回 2022年11月24日 Dクラス
  - 各回 日本人メンバー5～8名、介護士候補者12～18名(授業として実施)
- ・交流内容：インドネシアから来日の介護士候補者と基礎的な日本語会話練習会。

⑤大阪日本語教育センター・留学生とのZOOM交流活動

- ・名称：「日本人との会話練習」交流会
- ・活動日：毎月最終土曜日 13:30～14:30
  - 2022年8月27日～2023年2月18日 計6回
  - 各回 日本人メンバー5～10名、留学生6～9名
- ・交流内容：全体交流、グループに分かれての交流を計1時間行なう。日本に来てからの、疑問や今後の進路、生活の知恵等々

SAネット大阪・各事業部

伝承おもちゃづくり事業部



おもしろ算数教室事業部



国際交流事業部



4 広報部 活動報告

報告者：大川 正彦

1) 広報誌の発行

- ・ 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」40号(総会特集)=2022年07月(年1回)発行しました。
- ・ 高大校友会・PRコーナーに配架、SAネット大阪のチラシ等PR活用に努めました。

2) ホームページの推進

- ・ SAネット大阪事業部主催のイベントコロナ禍で、中止有るも都度更新を行いました。

3) 関連団体主催のイベントに参加予定も中止続く。

- ・ 関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」総て中止になりました。

4) 本部経費削減

- ・ 郵送料の圧縮推進の為、ネット大阪理事、高大役員、府SA連協理事に手配りを行いました。
- ・ 広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。

(ネット大阪ニュース40号=ニランジャンナセワサンガ)

5) 新規事業で社会貢献・・・別紙冊子添付

①「NPO おもちゃ学校(大阪校) — 子供健全育成指導者養成講座」(毎月第三火曜日)

- ・ 3期生開講式記念講演：高大「子ども事業部」音田事業部長
- ・ 長澤校長挨拶、スタッフの自己紹介、受講生の自己紹介に続き本日の授業に入る。
- ・ 3期生閉校式 修了証書授与

②夏休み子ども工作教室(ゲームにないものづくりの魅力)

③障がい者と、高齢者のスポーツ交流(障がい者スポーツボッチャ)

④大阪万博共創チャレンジ「幸せの星」プロジェクト。

⑤海外で日本語を学ぶ若者との国際交流(オンライン交流)

新規事業で社会貢献実績！(ファンド活動)



3期生開校式



3期生閉校式



夏休み子ども工作教室



「障がい者と高齢者」のスポーツ交流



「幸せの星」プロジェクト



「国際交流」オンライン交流

## ◆ ◆第18期 事業計画◆ ◆

## I. 第18期 総括事業方針

報告者：理事長：村松 秀明

大阪府 SA 連協との連携を密にしていく中で、共に組織の根本について協議を重ね新たな組織体を模索していきます。コロナという試練を経験し、その中で活動を考え、組織を考え結果として現在の姿があります。この17期で其々の事業部の次の姿を描き、実現すべく新たな会員を積極的に勧誘していきたいと思います。常に当法人の理念「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して支え合う多文化共生社会の実現を目指す」という事を念頭に置いて活動をすすめます。その為に、さまざまな団体・個人と連携しビジョン共創にチャレンジします。

## II 事業部 活動計画

報告者：島田 道子

## 1、伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動計画

① 四天王寺「わか市」四天王寺境内で原則月1回第1日曜日（令和5年度 9回）に催される「わか市」は、市民の手作りの手芸、日用品、雑貨等を展示・販売するという「市」で、多いときは150店近く出店、展示されている。品物を物色する参詣客、観光客等が気軽に見て廻り選べる、雰囲気定着している。私たちの「おもちゃづくり」は子どもたちからシニアまで簡単に作れて遊べるので、足を止め、楽しんでいかれる方が多く人気があります。今年度は何よりコロナ感染症の不安が少なくなり、「市」が定期的に開催されることを願っています。

## ②「おもちゃづくり教室」

奇数月1回第3火曜日（年6回）に開催している「おもちゃづくり教室」は平成17年から定期的に始めたこの「おもちゃづくり教室」も100回が間近になってきました。日本古来より伝承されてきたおもちゃを、材料・工程などを工夫し改良した、輩たち中心に、「教室」で指導してきました。今では多くの方々が更にアレンジ、工夫して独自のスタイルで各々の地域で活動されており、「教室」の果たした役割も少なからずあったと思います。今年度も従来の路線を継承しつつ、新しい目線で「教室」の運営を図りたいと考えています。また多数のおもちゃ学校修了生が、参加されて若い世代に継承されつつあることが感じられ、期待する所です。

## ③「おもちゃ教室」代表、木下 政子氏が就任

## ④ NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への「おもちゃづくり」指導。

今年度も、講師を委嘱されました。事前の打ち合わせを綿密に行い受講生全員に作って遊ぶ楽しさを味わって欲しい、それを地域との交流に役立てて欲しいと願っています。

## 2 おもしろ算数教室事業部 活動計画

報告者：二葉 登代子

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。参加していただけると、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の4本柱【食生活の改善】：・【頭（脳）のトレーニング】・【運動習慣を付ける】・【質の良い睡眠】の内の一つの役割【脳のトレーニング】を担うものと理解して頂けるでしょう。

また、小学校のいきいき教室でも高い評価を得て、小学生相手の活動も広がってきています。

以上で、当初の狙い「子どもには、考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図り、認知症予防を図られる」と考えています。

その上に、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

### 3. 国際交流事業部 活動計画

報告者：村松 秀明

2020年度にコロナ禍の中での活動として始めたオンライン国際交流活動を今期も継続致します。国際文化交流科の修了生を中心に SA 連協の SA 吹田・国際交流部とのコラボを含めてミャンマーとの交流は継続します。トルコアンカラ・イスタンブール ISMEK (イスタンブール職業訓練コース) との交流が暫く途切れているので秋からの再会を目指して準備を進めます。

大阪府高齢者大学校・国際文化交流科や英語クラス、IT関連のクラス、似顔絵を楽しく科等の修了生に対する修了後活動の提案、アドバイスを行なって行き、一人でも多くの仲間作りに努めたい。

また日本語教育センターや YOLO JAPAN 等、大阪において海外からの外国人に対応している団体・企業との連携を深めていき、外国人と共生社会の実現に貢献できるようにしていきたい。

#### 具体的活動

- ・ミャンマー「日本語で話そう」交流会  
第11クール～第13 1クール 10回 合計30回
- ・トルコ「日本語で話そう」交流会  
1クール 10回
- ・交流相手国候補 ベトナム・インドネシア
- ・日本語教育センターの留学生との交流 (ミャンマー18人)
- ・YOLO JAPAN とのコラボ活動 外国人食堂等
- ・大阪市教育会館内の福祉団体との交流活動 ぼっちゃ交流会。

### 4 広報部 活動計画

報告者：大川 正彦

方針：広報誌の発行と対外啓発活動(チラシ、ホームページ)を行い、NPO シルバーアドバイザー ネット大阪のフアンづくり又新規事業による収支の良化併せて、新人導入による世代交代を図る事等を支援継続します。

#### 1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、41号(総会特集)令和5年7月の発行を目指します。
- ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いします。
- ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。

②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

①高大校友会のPR コーナー (3F) のラックにも継続して「PR チラシ」等を配架し又関連団体行事の「コーデイフェスタ」「コーデイジョイフルゲーム」大阪区民、大阪府民カレッジ修了式等に事務局と共同で参加し、パンフレット等の資料でSA ネット大阪のPRに努めます。

3) ホームページの推進

①SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックス」の充実で、定期的なホットニュースを発信いたします。

②「SA ネット大阪ニュース」41号=令和5年7月(総会特集)を、アップします。

③関連団体の NPO 大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。

4) NPO 新規事業支援、広報

①NPO おもちゃ学校 (大阪校) = 子供健全育成指導者養成講座

・令和5年4月4期受講生 31名 継続

②夏休み子ども工作教室・令和5年7月募集

③万博共創チャレンジ「幸せの星」継続

④オンライン国際交流継続

新規事業計画「人、物、金」へのチャレンジ中

**SA・ネット大阪ニュース 第41号**

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>  
〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館(アネックス)法円坂内  
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL: 080-3040-6336

◆◆第17期通常総会を迎えて理事長の挨拶◆◆  
理事長 村松 秀明

- ◆ 普通の生活に戻りますが、暑様、如何お過ごしですか。当法人の2022年度活動のご報告、並びに今年度の活動計画について、本紙面を通じてご報告させていただきます。
- ◆ 各事業部の活動はコロナ禍の時を経て若干の変化があります。おもちゃ学校が定着してきた事、その修了生の活動が増えた事、国際交流の活動が変化した事、新報の活動として「ほっぺ交流会」や大阪万博共創チャレンジ「幸せの星プロジェクト」をスタートした事等があげられます。
- ◆ 組織としては大阪府SA連絡協議会に加盟した事が大きな変化です。昨年一年間役員会で議論を重ね本年度からの加盟となりました。大阪府全域で活動する仲間と共にシルバーアドバイザーの活動を盛り上げて行きたいと考えています。

SA ネット大阪ニュース 41号



3期生閉校式(大阪校)



4期生31名開校式(大阪校)

**令和3年度夏休み 子ども工作教室 生徒募集!**

《子ども健全育成指導者養成講座》

ゲームに慣れない物づくりの魅力を発見しよう!

開催日時 令和3年7月12日(土)・13日(日)・14日(月) 18時~19時  
定員 40名(20名/日) 21:00  
開催会場 大阪市東淀川区東野田2-1-21 (東淀川地区センター)  
21名

定額 無料(国立青少年教育振興機構とNPO法人の協賛事業です)  
4回合計1600円(お持ち帰り品は600円は別途頂きます)  
送料 別途送料がかかります

申込 7月12日(土)・13日(日)・14日(月) 申込締切は申込当日の18時です。申込先着順です。定員に達した場合は先着順で締め切ります。

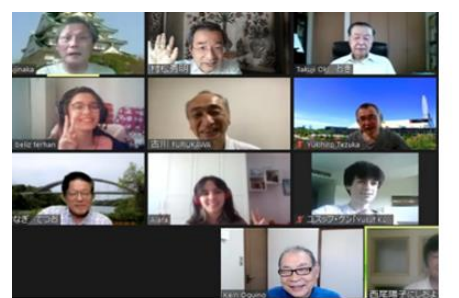
申し込み先 NPO法人 シルバーアドバイザー・ネット大阪  
〒540-0006 大阪府中央区法円坂1-1-35 大阪市教育会館(アネックス)法円坂内  
TEL: 080-3040-6336 (対応時間)

主催: NPO 法人 シルバーアドバイザー・ネット大阪  
大阪府中央区法円坂1丁目1番35番 大阪府教育会館内  
後援 認定 NPO 法人 大阪府高齢者大学校  
NPO 法人 大阪府民カレッジ  
NPO 法人 大阪府民カレッジ  
NPO 法人 大阪府民カレッジ

小学校夏休み工作教室継続



万博共創チャレンジ  
「幸せの星」継続



オンライン国際交流継続



◆ ◆ 18期役員名簿 ◆ ◆

2023年6月1日～2024年5月31日

現在の役員	新役員候補（案）
理事（理事長） 村松 秀明	理事（理事長） 村松 秀明（再任）
理事（副理事長） 大川 正彦	理事（副理事長） 大川 正彦（再任）
理事（副理事長） 二葉登代子	理事（副理事長） 二葉登代子（再任）
理事 武内 信憲	理事 武内 信憲（再任）
理事 島田 道子	理事 島田 道子（再任）
理事 森川 加也	理事 森川 加也（再任）
理事 渡邊 耕平	理事 渡邊 耕平（再任）
理事 長澤 慎治	理事 長澤 慎治（再任）
理事 古川 雅一	理事 小林 英行（新任）
監事 新鞍 清彦	監事 手塚 之博（新任）

17期総会後の講演会・素人寄席「てんてん」

とき：2023年6月3日・PM3:00～4:30

落語会演目

- 1、天神亭 真ん紀
- 2、天満家 彦う喜
- 3、まとぼっくす
- 4、天神亭 吉幸

- ・動物園
- ・星野屋
- ・時うどん
- ・ちりとてちん



◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-27

報告者 認定 NPO 高齢者大学校国際文化交流  
3期修了生 渡邊 耕平

私の歩き遍路



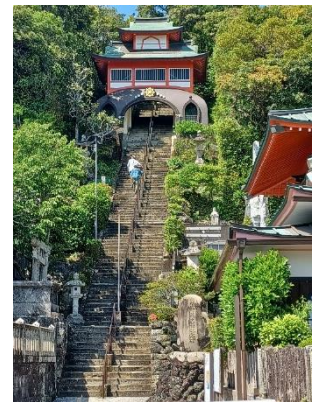
私がお遍路を始めたのはコロナ前（2019年6月）で、仲間4人で「1番 霊山寺」から「10番 切幡寺」まで宿坊を利用した一泊二日のお遍路が初回でした。

翌年、コロナ禍となり外出は控えるのが当然の風潮が強くお遍路も控えざるを得ませんでした。昨年秋からお遍路を再開し、区切り打ちのお遍路を3度行いました。しかし初回のメンバーはコロナ禍をものともせず強行された方もおられ同行者見当たらず一人の歩き遍路になってしまいました。

一人の歩き遍路に拘っている訳ではありませんが、他のお遍路さんと遍路小屋・お寺や遍路宿で一緒した時お聞きすると静岡・岐阜・新潟・熊本や遠くは北海道から来られて一人で歩き遍路をされて方が多く一人での歩き遍路が当たり前かと思ってしまう。

また、同宿の歩き遍路の方とは歩調の違いがあるものの幾つかのお寺でお目にかかることとなり、すれ違いの場では自然と目礼をさせていただきます。

まだ「37番 岩本寺」までしかお参りできておらずまだまだ先は長いのですが何とか88番まで回りたいと考えています。



シルバーアドバイザー ネット大阪



- ・総会后-設置
- ・「PRコーナー」
- ・おもしろ算数教室事業部



- 総会后-設置
- 「PRコーナー」
- ・伝承おもちゃづくり事業部



18期(2023年度)役員

## 2023 年度会員募集について

平素は、NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪に格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2023 年度(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)につきまして、新規入会の方、継続ご入会いただく方、年会費の納入は以下の通りです。

### 記

- ◇正会員 会費年額 3,000 円      ◇賛助会員 会費年額 1,000 円
- ◇振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-1-235092
- ◇口座名 NPO 法人シルバーアドバイザーネット大阪

・振込料は、恐縮ですがご負担をお願いいたします。

新規申し込み希望の方は入会申込書をお送りしますので、郵送か FAX または E-mail に添付し下記宛にご返送ください。

## NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35  
大阪府教育会館（アネックスパル法円坂）内  
認定NPO法人大阪府高齢者大学校内  
TEL080-3040-6336  
[E-mail sanet@osaka-koudai.com](mailto:sanet@osaka-koudai.com)  
[URL https://sanetosaka.com](https://sanetosaka.com)

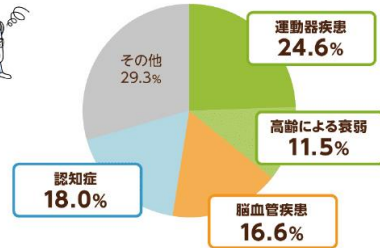
[ 編集後記 ] 疫病コロナの感染が一段落「ウィズコロナ（感染防止と経済活動）」の時代に入った様。SA ネット大阪総会でも各事業部元気が出て来たように見える特に理事長のリーダーシップで企画の5つの新規事業は（総会資料別紙）各プロジェクトリーダーが「人、物、金」の条件をクリアし、「社会貢献」の実績を生み、社会貢献をしないNPO法人は無くなる！社会貢献をする組織は社会から支持される！事を信じチャレンジ。 対外の共感を得てファンド活動（寄付、助成金）に繋げる事績が出来た。また、府連協、府民カレッジ、区民カレッジとの共生は増々課題となって来た  
2025 年には世界一の超高齢社会、社会保障を支えるボランティアが必要な時期、後継者育成は「大きな課題」又新人確保は「高齢化による自然減」の大きな対策となって来た。17 期総会特集 41 号お届けします。 広報部 M,O

# 下記のような症状、インソールで改善できます！

- ・靴が合わない、当たる・擦れて痛い
- ・足や膝関節などの痛みが良くならない
- ・体がふらつく、良くつまずく
- ・足が上がらず、長時間歩くと疲れる
- ・靴やインソールを試したが効果がない

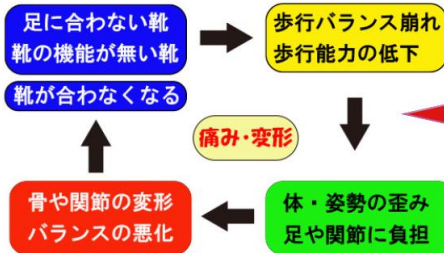
要支援・要介護の大きな原因は？

運動器疾患と高齢によるものが36.1%！



「バランス能力」と「歩く能力」の低下が原因！

## 痛みと変形の悪循環



「歩き方が悪い」と「靴が合わない」、  
「足が痛くなる」ことをご存知ですか？

靴と「歩き方を改善するインソール技術」で、  
この悪循環を断ち切り、改善します！



ドイツ製フィンコンフォート



歩行改善インソール

(+老化、ケガ、病気など)

23年間で23,000足の製作実績！  
NHKニュースの特集で匠の技として紹介！  
当店独自の難しい技術です！

## 「歩き方を改善するインソール」製作の流れ



1. 足の計測・フットプリント・問診、足や膝などの状態、過去のケガ・病気などのデータ収集
2. 歩行状態の観察・分析
3. 1～2のデータからインソールの基本形状を決定。
4. 60%の完成度で挿入し、歩行の変化を観察・評価を繰り返す。
5. 「歩き方」「痛み等の症状」の改善を確認しながら、部品を追加し完成させて行く。

必ず結果が出ます！

- ・外反母趾、扁平足、タコ、足裏痛、足底腱膜炎（踵痛）、足関節症
- ・膝関節症、股関節症、脊柱管狭窄症、関節リウマチ、腰痛症など

※ご相談下さい！ 症状により健康保険適用で「靴やインソール」が製作可能です。



NPO 法人オーソティックス・ソサエティー会員  
日本靴医学会準会員・日本装具学会会員

foomarks フットマークス

〒547-0027 大阪市平野区喜連4-17-12

06-6700-1192

営業時間：10:00～18:00

定休日：毎水曜日、第1・3日曜日

<https://www.footmarks.jp>

